

第1回 港南区協働による地域づくり推進協議会を開催しました！

日 時：平成26年7月3日（火）15時15分～17時00分

場 所：港南区役所3階2号会議室

出席者	藤田会長、長副会長、五十嵐副会長、加藤委員、福山委員、高柳委員、嶋田委員、二河委員、小野寺委員、大友委員、小玉委員、守分委員、齊藤委員
議 題	1 港南区協働による地域づくり推進協議会の設立 2 平成26年度における各団体の取組について（情報共有と意見交換）



後列左から、

嶋田委員、小野寺委員、加藤委員、小玉委員、
福山委員、二河委員、高柳委員、守分委員

前列左から、

大友委員、長副会長、藤田会長、五十嵐副会長、
齊藤委員

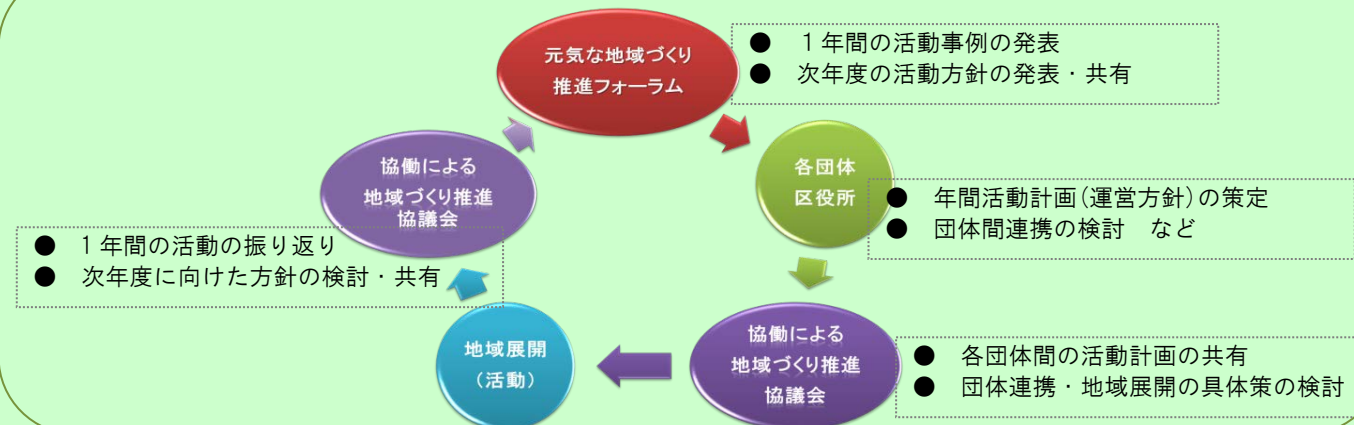
【協議会の概要】

『協働による地域づくり』を進めることで目指す港南区の姿（目標）[※]の実現を目指し、区内の地域活動者や団体（活動団体等）が、自治会町内会の中での連携や協力を密にし、身近な地域での活動をより一層推進していくために、活動団体等と行政が一堂に集い、話し合い、ともにより良い地域づくりに向け、連携・協力し取組を進める場として、「協働による地域づくり推進協議会」を設置しました。

※【協働による地域づくりを進めることで目指す港南区の姿（目標）】

- ✧ 自分たちが暮らす**地域に愛着を持ち、次世代につなげる「ふるさと港南」を実感**している。
- ✧ 防災減災や地域防犯、見守り・支え合いなどの活動が全地区で行われ、**向こう三軒両隣に「お互いさま」の関係ができ、「安全で誰もが安心して暮らせるまち」**になっている。
- ✧ 区民が地域の活動や健康づくりなどに取り組み、超高齢社会の中でも**一人ひとりが元気に暮らせるまち**になっている。
- ✧ **地域と行政が一緒になって**、より良い地域づくりの実現に向け**協働の取組が進んでいる**。

【港南区における協働による地域づくりの推進サイクルのイメージ】



(港南区連合町内会長連絡協議会)

はじめに平成 26 年度の各団体の重点取組や地域で活動を進めている課題、感じていることなどを話していただき、その後意見交換をしたいと思います。

区連会として、私たちが目指す地域というものは、まずは安全で誰もが安心して暮らせる、一人ひとりが元気で暮らせる。そこで暮らす人々が愛着を持ち、ふるさとを実感できる地域、次世代につなげていくことです。ただ、この目標を達成するには、区連会だけでなく、このような会議で皆さんと情報を共有し、助け合っていくことが重要だと感じています。

より良い地域づくりをするために、連合では、各地区で意見交換会を行っています。これをさらに充実させていきたい。また、高齢化社会において福祉の取組は非常に重要になってきています。役所だけでやっていくのは難しく、できることは、一緒に取

り組んでいきたい。

さらに、担い手が少なくなっているので、協働による地域づくりの人材育成が重要です。昨年、学び舎ひまわりを様々な関係者の協力のもとで行いました。この学び舎ひまわりを通じて、地域の担い手を育てていきたい。皆様方からでもできる範囲で良いので、自治会・町内会の会合に出席してほしい、そして情報を聞いてもらいたい。協働の輪をどんどん広げていって住み良い港南区をつくっていきましょうというのが連合の考えです。



(港南区社会福祉協議会)

区社協は第 2 期の港南区福祉保健計画と元気な地域づくり推進フォーラムにおける「みんなで見守り宣言」を活動の基軸として、区役所、地域ケアプラザ、各自治会・町内会、民生委員・児童委員、各団体、住民の皆様とともに港南区の地域づくりを進めてきました。

平成 26 年度は「一人ひとりがつながり合い、お互いに支えあえるまちをつくる」を目標とし、4つの重点事業を設定しています。一つ目は、小地域活動の推進と支援です。二つ目は、身近な地域のつながり、支えあい活動推進事業の推進。三つ目は、個別支援事業における生活支援機能を強化するということで、ボランティア相談者や安心センター利用者への関係機関や地域活動を含めた生活の支援をしていきたい。四つ目は、募金会費・助成金などの効果的な配付です。そういうものに今まで以上に取

り組んでいくという心構えです。皆様ご支援をお願いしたいと思います。



(港南区民生委員児童委員協議会)

民生委員・児童委員は、港南区では現在 277 名おりますが、私たちの力だけでは、とても成り立ちませんので、皆様のお力を借りながら活動していきたいと思っております。

私たちの活動の基本は、地域に住んでいる住民の立場に立って、住民の福祉のために尽くしていくということです。支援を必要とする方の相談相手となり、それを関係機関へつないでいくという、つなぎ役として活動をしています。

民生委員・児童委員の制度が始まって、90 周年という時に「広げよう地域に根差した思いやりの行動宣言」という宣言を全国の民生委員・児童委員で出しました。それは、安心して住み続けることができる地域づくりに貢献しよう。地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案していこう。児童虐待や犯罪被害から子供を守る取組を進めたいこう。多くの福祉課題を抱える生活困窮家庭を粘り強く支援していこうというものです。また、「災害時要援護者の安否確認・支援をしていきたい」という行動宣言も出しました。

このような会議の中で皆さん方と連携を取っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。



福山委員
(地区社会福祉協議会)

「地区社会福祉協議会とは何か」ということを私たち自身が考えながら取組を進めています。分科会のメンバーは各地区2名なので、全地区で約30名くらいです。いろいろなことに対して、意見することができる人もいれば、できない人もいて、社協と連合との関わりが一樣ではありません。社協と連合との間では、各地区でどのように協働を行っているのかなど、検討や情報交換を行いながら、とても良い関係になってきています。

地域を活性化させることが、社協の仕事ではないかと思っています。小さなボランティアや企業・団体が一生懸命現場へ行き、関わっていくことで、発展しているのだと感じています。社協も連合も一体となって、安心・安全のまちづくりをしていくことが大事だと思っています。



高柳委員
(港南区保健活動推進委員会)

保健活動推進員は、港南区では250名の委嘱委員が活動しています。活動としては、赤ちゃんからお年寄りまでの見守りも含めて、地域の皆様の健康づくりに力を入れています。

活動テーマは、大きくは、ウォーキングの推進、禁煙・分煙の推進、特定健診・癌健診の向上などですが、26年度は、ロコモ対策の推進を健康づくりの中心テーマとしています。また、ウォーキングも昨年から力を入れています。禁煙・分煙については、保健活動推進員の中にも分科会を持ち、各団体と一緒に、禁煙・分煙の会なども持っています。ゆめワールドやボランティアフェスティバルなど、一年間を通して、様々なイベントを行っています。私たちだけで出来ないことも沢山ありますので、他団体の方とも連携を持ちながら、やっていきたいと思っています。



小玉委員
(港南区シルバークラブ連合会)

私はいつも「集まったらまず楽しくやれよ、まず自分が楽しむ、そしてみんなで楽しむようにするよ」といつも言っています。

全国老人クラブ連合会は昨年の4月1日現在で650万人です。全国老人クラブ連合会では、この5年間で100万人増やそうとしています。港南区は、現在、正式会員7,002名です。自治会・町内会と連携を取ってこうという話はしていますが、18区の中でもうまくいっているところもあれば、いいところもありません。

シルバークラブの目標は、「健康」、「友愛活動」、「奉仕活動」です。まずは健康でなければいけません。今、横浜市は健康寿命日本一を目指そうとしています。シルバークラブでも夏祭りや、10月7日には港南区シルバークラブ連合会のスポーツ大会があります。できるだけ多くの方々に参加していただければありがたいと思います。



守分委員
(港南区食生活等改善推進委員会)

港南区食生活等改善推進委員会は、行政や他団体と行う健康フェアや行政・企業と行う健康づくりのイベントに参加。昨年度からは、野菜摂取量を増やすことや「減塩しましょう」という活動を重点的に行っています。親子の食育教室やお隣さんへ健康づくりのおすそ分けをし、地域がつながるためのパートナーシップ事業も活動の一つです。

委嘱団体ではありませんが、区の福祉保健センターの養成講座「食生活等改善推進員養成セミナー」を40時間受講して、会員の資格を得て、任意で入会しての活動で、港南区で136人、横浜市は18区に区ごとの団体があり1,868人、全国で17万人の会員がいます。会員の年会費と横浜市や日本食生活協会の食委託事業費で運営します。

地域の皆さんの健康づくりが目的であり、いろいろな団体とつながり活動をしていきたいと思っています。



小野寺委員
(消費者生活推進員の会)

消費生活推進員は、消費者として必要な、安全で快適な消費生活に関する知識を学習し、身に付けたことを地域の啓発講座の開催などで情報発信しています。

特に、消費者トラブル・被害の未然防止などを地域に拡げていく活動を実践しています。

今季メンバーは、ほとんどの方が初めてで当初は戸惑いもありましたが、一年以上経過した今は、15地区2名の地区代表が毎月一度の定例会に参加し意見交換などを行い、地域に戻り地区メンバーと活発に啓発活動を行っています。

今後はさらに、町内会の方々と連携を取り、地域に役立つ情報を発信していきたいと思っています。



大友委員
(港南区環境事業推進委員
連絡協議会)

環境事業推進委員です。環境問題は大変難しい問題だと思っています。地球温暖化が進むことによって、最近の台風がこれまでにない規模の大きさに発達しているといわれています。

先日高島屋の前で3R夢のキャンペーンを区役所、資源循環局と行いましたが、なかなか取組が浸透していかない。この活動そのものが温暖化による異常気象対策そのものであり、未来の子どもたちに少しでも良い環境を残すために皆様と共に実践活動を続けていきたいと思っています。



二河委員
(港南区青少年指導員協議会)

港南区の青少年指導員は、「次世代とともに活動し、港南区の若い力を応援しよう!」ということのスローガンにしています。2年前に3月の中旬にひまわりウォークを開催し多くの方に参加いただいています。今年度も様々な工夫をして、広い世代に来てもらおうと頑張っています。また、宿泊研修や救命講習会などを行い、自らの中身を鍛えることも行っています。

昨年は生徒指導の専任の先生たちとの話し合いに加え、港南区のすべての中学校でアンケートを行うなど、学校との連携を強化しています。子どもたちのプラスの面とマイナスの面の両方を見て、見守っていきたくと考えています。

子供の育成という面で広く活動していきますので、今後ともよろしくお願いします。



嶋田委員
(港南区スポーツ推進委員
連絡協議会)

私たちは、スポーツを通じて住民の健康づくりや体力づくりをしていく活動をしています。

我々は全員で155名。小学生から高齢者までまんべんなく実施できるようなスポーツを特に推進しています。現在、誰もが簡単に楽しめるグラウンドゴルフやファジーバレーボールの普及に力を入れています。我々スポーツ推進委員も子どもたちの体力向上という視点で関係していきたいと考えています。ウォーキングについても、その重要性を認識しており、我々も協力していきたいと思います。

我々が大事にしていることは、自分が技量とか技術を身に着けたら、自分の地区、自治会・町内会、学校などに売り込みに行くことです。また、大きなイベントをやったらそれでおしまいということにならないように、草の根を分けて、乗り込んでいくということをモットーにしていきたい。



齊藤委員
(港南区役所)

最後に区の立場からお話しします。この協働による地域づくりは、港南区の宝だと思っています。私もこの協働の輪を大きく育てていきたいと思っています。その育てるという意味は、二つあると思います。

一つ目は、今日委員の皆様に熱い思いを話してもらいました。この中身を各専門の中で濃くしてもらい、自治会・町内会の輪の中でも、中身を濃くしていく、ということです。

二つ目は、輪を大きく広げるという意味で、これまで関わりのなかった、全く関心のなかった方々に、仲間に入ってもらって、この輪を広げていくということです。

その中で、この協働の輪が地域の中での幸せの輪、明るい楽しい輪になっていくといい地域づくりになっていくと思います。今日は皆様方のお話を聞いて、これはもう一歩進むことができるのではないかと確信しておりますので、是非この協働の輪を皆さんのお力を借りながら、大きく広げ、中身の濃いものにしていきたいと思っています。

【まとめ（藤田会長）】

全体的に感じるのは、自治会・町内会と関わり合いを持ち、いかに育てていくかということです。やはり相手に対して、いかに理解をしてもらえるか、分かってもらえるかということです。

ボランティアですから、特にその辺は気を付けないといけない。お互いの立場を尊重しながらやっていく、なかなか時間がかかることではありますが、今日の話を皆さんが各団体に持ち帰って、共有してもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。